

健康危機管理対応人材育成に関する合同検討委員会 主催
全国衛生学公衆衛生学教育協議会 共催
医学部における健康危機管理教育体制の構築に向けたワークショップ2
健康危機管理を多職種連携教育から考える～卒前教育現場での課題と展望～

開催概要

1. 背景

- 令和4年度改訂版の医学教育モデル・コア・カリキュラムにおいて、「健康危機管理」が明示され、医学部における健康危機管理に関する教育体制・実効性の確保が急務となっています。この状況を受けて設置された「健康危機管理対応人材育成に関する合同検討委員会」（以下、合同検討委員会）は、災害医学・健康危機管理教育の充実に向けて、救急医学講座・災害医学講座と衛生学・公衆衛生学講座が連携した健康危機管理分野の教育体制を確立する必要がある、と提言しています。
- 合同検討委員会では、これまで健康危機管理の卒前教育のあり方に関するワークショップや学会報告を行ってきましたが、その中で、健康危機管理の実務は多職種で行われるため、卒前教育においても多職種連携を意識したプログラムが重要ではないか、というご意見をいただきました。そこで、今回、健康危機管理の多職種連携教育をテーマとして、先進的な取組事例についての話題提供とディスカッションを主体としたワークショップを企画いたしました。

2. 目的

- 大学医学部の健康危機管理分野の教育に関わる講座・部門における、多職種連携教育の取り組みの事例を共有し、教育体制の強化に向けた大学内外の連携・人材確保のあり方について意見交換を行うこと。

3. 開催主体

- 健康危機管理対応人材育成に関する合同検討委員会、およびその構成団体（下記）
（日本公衆衛生学会、日本衛生学会、日本産業衛生学会、日本医療・病院管理学会、日本救急医学会、日本災害医学会、日本医学教育学会、社会医学系専門医協会、全国衛生学公衆衛生学教育協議会）

4. 対象

- 医療従事者の健康危機管理の卒前教育に関わっている方（大学教員、行政職、医療機関・社会福祉施設等に勤務する方など）

* 医師以外の職種の方、医学部の教員以外の方のご参加も歓迎いたします。

5. 開催日時

- ・ 2025 年 10 月 28 日（火） 16：30－18：00

6. 場所・開催形式

静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」 11 階 会議ホール・風

静岡県静岡市駿河区東静岡 2 丁目 3－1 <https://www.granship.or.jp/visitors/parking/>

- ・ 原則対面（＊ハイブリッド開催またはオンデマンド配信については検討中）

7. プログラム概要（案）

1) 開会挨拶・趣旨説明（10 分）

2) 話題提供（40 分）

- ・ 健康危機管理分野の多職種連携教育についての取り組み事例の紹介
 - 地域のリソースを活用した健康危機管理の多職種連携教育の取り組み
藤田医科大学医学部地域医療産学連携共同研究講座・准教授 和泉邦彦先生
 - 学生主体で取り組む多職種での健康危機管理の学び
浜松医科大学救急災害医学講座・助教 高橋善明先生

3) ディスカッション（30 分）

- ・ 以下のテーマを中心に、参加者と話題提供者、合同検討委員会のメンバーでディスカッション
 - テーマ（案）
 - ・ どのような職種・組織との連携が考えられるか？
 - ・ 多職種連携教育の実践のコツは？
 - ・ （医師以外の職種から）医学部との多職種連携教育に期待することは？

4) 総括・講評・閉会挨拶（10 分）

8. 費用等

- ・ 参加費は無料です（本ワークショップの参加にあたり、第 84 回日本公衆衛生学会総会への参加登録は必要ありません）
- ・ 参加者への旅費のお支払いはいたしません。

【お問い合わせ先】

健康危機管理対応人材育成に関する合同検討委員会
全国衛生学公衆衛生学教育協議会健康危機管理教育ワーキンググループ
富尾 淳（国立保健医療科学院 健康危機管理研究部）

E-mail: tomio.j.aa@niph.go.jp